



概要

高知大学では、四国で唯一の修士課程公衆衛生学コースを母体に、病院経営に特化したプログラムを開発しています。経営学で用いられる考え方を講義とケースメソッドを通して学び、現場の課題を解決する能力を養い、病院現場（自施設）での実践実習を通して、病院のトップマネジメントとともに、OODA（ウーダ）を実践できる現場責任者を養成します。

OODA（ウーダ）とは、「Observe, Orient, Decide, Action」のサイクルのことです。

繰り返しトレーニングすることで、現場の状況を観察し、迅速で柔軟な判断（意思決定）を実現し行動することが可能となり、現場での課題解決能力が養われます。



目的

「実践力」を備えた病院経営トップマネジメントと病院経営に参加する現場責任者、将来の幹部候補生を養成します。

プログラム構成・修了要件

1年間で、本プログラムで定める科目から、必修科目3科目及び選択科目2科目以上履修し、合することとします。

本プログラムの修了者には修了証を授与します。あわせて、学校教育法第105条の規定に基づき履修証明書を交付します。

— 必修科目 —

病院経営学講義	病院経営学演習	病院経営学実習
経営5つの基礎スキル 「組織」「会計」 「財務」「マーケティング」 「戦略」を中心に学びます	経営事例（ケース）を用いて ケースディスカッション形式 で学びます	病院現場（自施設）での実践 実習を行います

— 選択科目 —

(2科目以上を履修)		
▪ マネジメント入門	▪ 医療政策・医療経済学	▪ 医療管理
▪ メディカルデータマイニング	▪ 疫学研究のための統計学	▪ 産業保健学Ⅰ
▪ 看護管理学	▪ 看護管理学演習	

特徴

- 理論と実践の実学から病院経営を学ぶ
- ケースディスカッションで意思決定模擬実践
- 病院経営現場（自施設）での実践実習
- 病院経営に携わる受講者との出会い